



令和 6 年 6 月 10 日

令和 6 年度 第 1 回

「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」開催

～ 物流パートナーシップ優良事業者 2 年連続大賞受賞
鈴与による異業種連携と中継輸送の講演会 ～

(一社) 日本物流団体連合会 (真貝康一会長) は、6 月 5 日、全日通霞が関ビルディング (千代田区霞が関) で令和 6 年度 第 1 回「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」を開催しました。



講演を行う鈴与 (株) 齋藤宏行氏

基調講演として、鈴与株式会社 運輸事業営業部 特任部長兼営業課長 齋藤宏行氏を講師に招き、「物流における環境負荷軽減の取り組み」と題して講演いただきました。鈴与株式会社は当連合会が国土交通省、経済産業省、日本ロジスティクスシステム協会 (JILS) と共催している「物流パートナーシップ優良事業者表彰」制度にて、令和 4 年度、5 年度と 2 年連続で国土交通大臣賞 (大賞) を受賞しております。それを記念し、今回は、大賞を受賞した取り組みである異業種連携の共同輸配送、中継輸送について講演していただきました。物流事業者にとって、共同輸送と中継輸送

は「物流の2024年問題」の解決に向けて非常に効果的な取り組みでもあるため、講演は物流事業者だけでなく荷主企業からも聴講がありました。内容も「異業種連携の難しさ」、「中継輸送の問題点」など物流事業者が関心のある内容であり、取り組み内容について自社に引き合わせて考えることができる説明となっていました。

講演後は「EV車両は導入検討するのか」、「浜松地区の中継拠点はどういった倉庫を新設するのか」といった具体的な質問が挙がり、活発な質疑応答となりました。

続いて、参加メンバーによる情報交換会を行いました。前回開催した小グループでのディスカッションが盛り上がったため同様の形式を踏襲し、「自社の物流提案を通じてお客様の温室効果ガス排出量の削減を実現することができるか」を主題として45分間の情報交換を行いました。講演後の鈴与株式会社様にもオブザーバーとしてご臨席いただき、中継輸送、低床車両についてコメントをいただきました。

最近は様々な物流企業でサステナビリティに対する専門部署ができつつあり、会には新しいメンバーも増えています。メンバーはカーボンニュートラルについて手探りで情報を入手していることも多く、悩みを抱えながら対応している状態です。そのような中、カーボンニュートラルに対してのメリットデメリット、答えの出ない問題の共有など、同じ物流事業者としての事例を聞くなどして、各社に情報交換会を参考としていただきました。

今回の情報交換会は7月に施設見学会を開催する予定としており、当連合会ではこの情報交換会を通じ、物流業界全体でのカーボンニュートラル推進の取り組みを進めてまいります。



小グループの意見交換に参加する鈴与(株)齋藤氏(左)



各テーブルの議論の様子

以上

事務局 島田